

江東区議会議員

鈴木あやこ

江東区議会 民政クラブ 会派レポート

- 議会報告
- 鈴木あやこ区政報告座談会「あやこcafe」開催案内
- 鈴木あやこの議会質問
- 地下鉄8号線（豊洲～住吉間）事業化へ！

【鈴木あやこプロフィール】

江東区猿江・潮見を経て豊洲在住。早稲田大学大学院修了。

NTTドコモ勤務を経て、2011年初当選。現在3期目。

日本最大の政策コンテスト「マニフェスト大賞」3回受賞。

★所属委員会（2021年度）

厚生委員会 委員長／医療・介護制度特別委員会 委員

マニフェスト大賞 副実行委員長

★趣味：料理・まち歩き・水辺歩き

鈴木あやこ
ホームページ



鈴木あやこ
YouTubeチャンネル



江東区 新型コロナウイルス
関連情報



KOTO city TOKYO
スポーツと人間が熱いまち江東区



2022年
(令和4年)
4月号
Vol.91

● 江東区議会 令和4年第1回定例会 開催報告

江東区議会令和4年第1回定例会は2月24日～3月30日まで開催されました。

区政一般質問・各委員会審査のほか、令和3年度の最終補正予算、令和4年度（新年度）の予算審査特別委員会があり、可決されました。

次回は5月24日に次年度の議会構成を決める臨時本会議が開催予定です。

引き続き、コロナ対策、子育て、福祉、新しいまちづくりなど江東区の区民生活向上のために取り組んでまいります。



江東区議会 民政クラブ所属議員

毎月開催！ あやこcafe（鈴木あやこ区政報告座談会）

江東区のまちづくりや区政について皆様とざっくばらんに対話する区政報告座談会「あやこcafe」を毎月1回、これまでに131回開催しています。

新型コロナウイルスの影響により、2020年4月からはオンライン開催を行っています。

これまでの開催は、区議会の報告やコロナ対策のほか、専門家をゲストに招き、「テレワーク」「うつ病・自殺対策」「水辺の活用」「ICT教育」などのタイムリーな話題も取り入れ、皆様と意見交換を行いました。

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、当面はオンライン開催の予定です。

最新の開催情報は、鈴木あやこホームページ・SNSにてお知らせします。QRコードから開催情報を御覧いただき、ぜひご参加いただくと幸いです。



開催風景



7月ゲスト：寺田浩之さん



8月ゲスト：澤登和夫さん

あやこcafe



問い合わせフォーム



地下鉄8号線（有楽町線）の延伸（豊洲～住吉間）いよいよ事業化へ！

江東区の南北の交通アクセスの不便さの解消手段である「地下鉄8号線（豊洲～住吉間）」の延伸の実現に向けて、江東区・江東区議会では、区民の皆様と連携し、50年にわたって推進をしてきたところです。

今年の1月28日、東京メトロが国土交通大臣に対して鉄道事業許可を申請し、いよいよ事業化することになりました！

実現に向けては、江東区では2022年度中に「地下鉄8号線沿線まちづくり構想」を策定し、豊洲～住吉駅とその中間の新駅（2駅）の沿線地域のまちづくりの推進をはかることになりました。



豊洲4丁目公園で行われている環境調査

すでに、2月からは地下鉄延伸に伴う環境調査が始まっており、豊洲四丁目公園・枝川橋第三児童遊園・東陽公園・川南公園・猿江二丁目公園の5箇所で地質調査や観測井戸を設置した水位調査が実施されています。

地下鉄8号線延伸は、完成までに短くても10年を要する一大事業であり、沿線のまちづくり、豊洲駅・東陽町・住吉駅など既存駅の混雑緩和なども課題になります。

区民の皆様の声をしっかり反映しながら、地下鉄8号線の延伸を推進してまいります。



地下鉄8号線（豊洲～住吉間）延伸イメージ

鈴木あやこの議会質問（2022年3月 令和4年度予算審査特別委員会・抜粋）

1. 行政手続きのオンライン化について

新型コロナウイルス感染拡大を背景に、自治体や行政においてもDXの重要性が高まっている。政府もデジタル庁を設立し、行政手続きの抜本的なオンライン化やワンストップ化、書面、押印、対面主義からの脱却や、国・地方を通じたデジタル基盤の標準化、オープンデータの推進など様々な政策実現に舵を切った。

江東区においても、令和4年度の予算編成の中で、「行政のデジタル化への対応」を重要施策として掲げており、私自身が2011年に区議会議員になってから議会で提案し続けてきた「行政のデジタル化、ICTの利活用」の施策が大きく進んでいることについて期待している。

① デジタル化対応が予定されている手続きについて

【質問】

コロナ禍の中で、非対面、非接触で行政サービスをオンラインで完結できる環境整備が求められている。

江東区では令和3年度の江東区情報化推進プランの取り組みの中で電子申請サービス拡充に向けた手続き調査を実施し、優先的に取り組むべき手続きを選定し、デジタル化を推進するとしている。具体的にはどのような手続きについてデジタル化の推進を予定しているのか。

【答弁】

具体的な手続きとしては、ID付個人番号カード交付申請書発行依頼や区民税都民税の分割納付申請、国民健康保険再交付申請書、避難行動要支援者名簿の登録届出書、道路占用廃止届などの申請や届け出、講座や講習会などの申し込みを対象に優先的にデジタル化の推進を予定している。



② 保育園の入園申し込みの電子化について

【質問】

子育て・保育分野の電子申請に関する区民要望は多く、特に保育園の入園手続きのオンライン化は以前から根強い声がある。

これまでの議会質問に対する答弁では、「現状では個別の申請者の事情を丁寧に把握するために対面の受付としており、システム改修等の環境整備や業務プロセスの見直しなどにも課題があるが、江東区行財政改革プランにおいて掲げ、全庁的に検討を進めていく」というものであった。

保育園の入園手続の電子化への検討・対応状況における全庁的な取り組みの進捗、いつ頃実現できる見込みで動いているか。

【答弁】

保育施設等の利用申し込みについては、国が「デジタルガバメント実行計画」において、地方公共団体が優先的にオンライン化を推進すべき手続きであることから、情報システム課としても、システム環境の整備などについて、保育課と対応を検討している。実現に向けて、情報システム課としても、技術的な支援を引き続き行う。

2. 区職員のテレワークについて

【質問】

江東区の職員のテレワークの実施についてはこれまで議会質問しており、今回の予算で出先機関のWEB会議用の端末が予算計上された。

区の本庁舎勤務の職員が外部との打ち合わせに利用するだけでなく、自宅から区の職員がテレワークで会議を行えるようにすることが、コロナ対策の観点からも多様な働き方推進の立場から求められている。

区職員のテレワークの進捗状況と今後の計画について伺う。

【答弁】

令和2年度に区職員がテレワークを実施できるシステム環境を構築した。

現在は、コロナ対応に特化した緊急的な業務に活用し、テレワーク実施に向けた検証を行っている。

今後は、ご指摘のテレワーク会議ができるシステム構築等も含め、情報システム課と連携し、検討していきたい。

